

# 埼玉県のがん 2015 概要版

2015 年 埼玉県地域がん登録及び全国がん罹患モニタリング集計から

埼玉県保健医療部疾病対策課

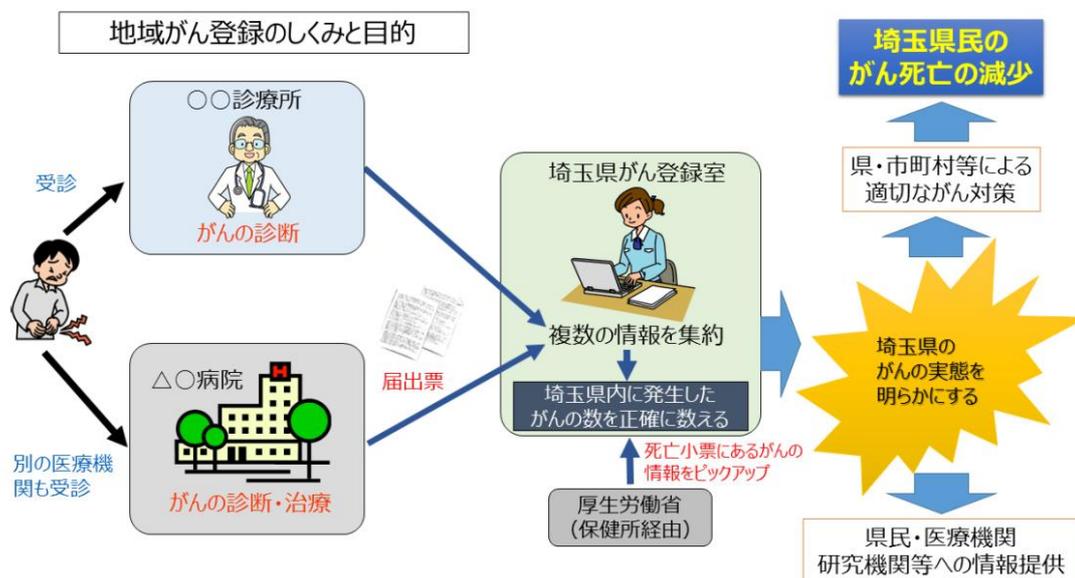
## 埼玉県地域がん登録

埼玉県地域がん登録の目的は、埼玉県におけるがんの発生、死亡及び医療状況の実態を調査することにより、がん罹患率、がん患者の受療状況、生存率を把握し、本県におけるがん対策の推進と医療水準の向上に資することです。上記を達成するため、埼玉県保健医療部疾病対策課では埼玉県のがんの登録と集計、統計資料の作成、提供を行います。

## がん情報の収集方法

埼玉県内の医療機関は、新たに悪性新生物患者を診療した場合、指定の届出票によって登録室に届け出ます。県内の保健所は、人口動態調査死亡小票を複写し、登録室に移送します。登録室は、①届出票の内容をデータ化、整理、登録、②死亡小票の内容をデータ化、整理し、既登録データと照合、③がんによる死亡で一定期間届出のない症例について、死亡診断書を作成した医療機関に提示し、届出を促す調査（遡り調査）を実施し結果を登録、以上の業務を行います。

届出票の主な収集項目は、個人識別項目（漢字姓名、生年月日、性別、住所）、腫瘍情報（診断日、部位、病理組織型、病期）、治療情報（治療方法、治療結果、死亡日）です。



## 全国がん登録

平成 28 年 1 月に「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、これ以降に診断されたがんは全国がん登録として収集・集計・分析がされています。これに伴い埼玉県地域がん登録は平成 27 (2015) 年罹患情報の集計、公表をもって終了しました。なお、これまで収集した地域がん登録情報は、全国がん登録と合わせ都道府県がんデータベースとして今後も活用されます。

## 2015 年罹患の概要

### 集計の期間

罹患年月日（初めてがんと診断された日）が平成 27（2015）年 1 月 1 日から 12 月 31 日の間の 1 年間

### 集計の対象

- ① 届出票及び遡り調査票で提出された悪性腫瘍及び上皮内腫瘍
- ② 死亡情報によってのみ把握している症例については、良性・悪性の別不詳（悪性の明示のない腫瘍など）で示される新生物による死亡で、部位が肝、膵、腎、膀胱、肺

### 精度指標

DCN 割合：10.7 %、DCO 割合：7.3 %、MI 比：0.43

DCN 割合：死亡情報で初めて把握された（死亡票にがんがあるのに届け出がない）患者の割合で、低いほどよい  
DCO 割合：死亡情報のみで登録された（遡り調査による情報がない）患者の割合で、低いほどよい  
MI 比：がん死亡数（人口動態統計による）とがん罹患数の比で、一定範囲に収まるのがよい（0.5 前後）

### 罹患の概要

2015 年に埼玉県において、43,637 件（男性 25,862 件、女性 17,773 件、性別不詳 2 件）のがんが新たに診断されました（上皮内がんを除く）。男性で最も多いがんの発生部位は前立腺で、大腸、胃、肺、肝及び肝内胆管と続き、女性では乳房が最も多く、大腸、胃、肺、膵と続きます。

上皮内がんを含めると 48,257 件（男性 28,184 件、女性 20,071 件、性別不詳 2 件）で、発生部位は多い順に男性は、大腸、前立腺、胃、肺、膀胱、女性は乳房、大腸、胃、肺、子宮頸部となっています。

#### 上皮内がんを除く

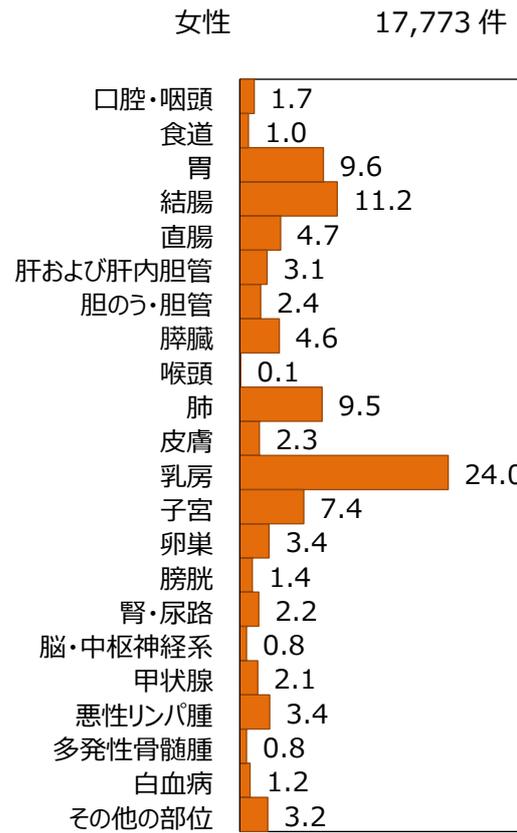
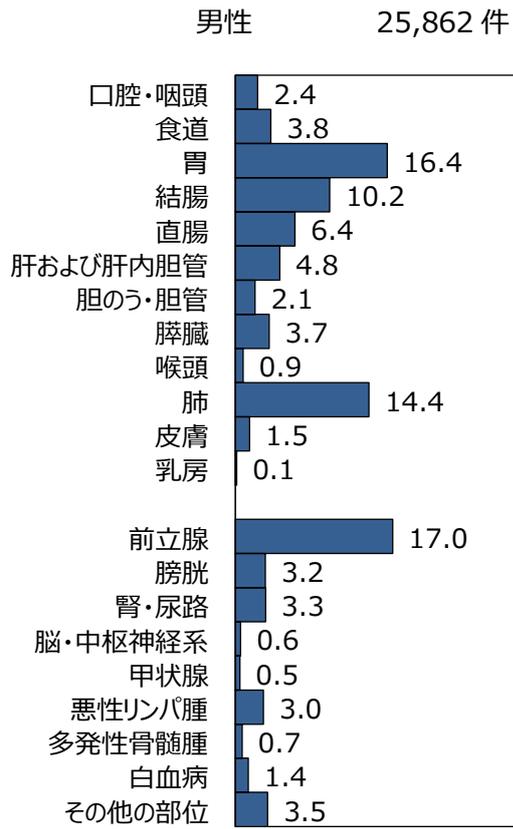
	1	2	3	4	5
男性	前立腺 4,395 件 (17.0%)	大腸（結腸・直腸） 4,303 件 (16.6%)	胃 4,244 件 (16.4%)	肺 3,736 件 (14.4%)	肝および肝内胆管 1,246 件 (4.8%)
女性	乳房 4,267 件 (24.0%)	大腸（結腸・直腸） 2,831 件 (15.9%)	胃 1,712 件 (9.6%)	肺 1,687 件 (9.5%)	膵 811 件 (4.6%)

#### 上皮内がんを含む

	1	2	3	4	5
男性	<b>大腸（結腸・直腸）</b> 5,735 件 (20.3%)	前立腺 4,395 件 (15.6%)	胃 4,244 件 (15.1%)	肺 3,743 件 (13.3%)	膀胱 1,428 件 (5.1%)
女性	乳房 4,713 件 (23.5%)	大腸（結腸・直腸） 3,577 件 (17.8%)	胃 1,712 件 (8.5%)	肺 1,695 件 (8.4%)	<b>子宮頸部</b> 1260 件 (6.3%)

太字は上皮内がんを含めることによって順位があがったもの

部位内訳 (%) (上皮内がんを除く)

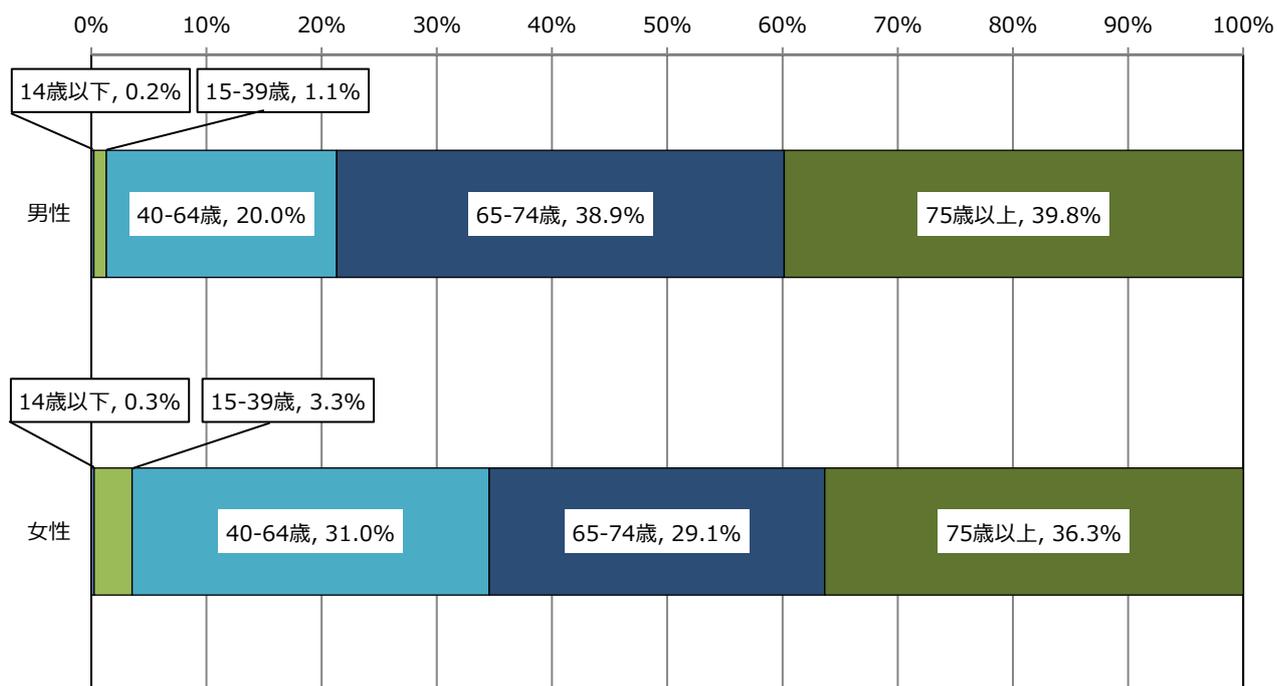


## 年齢別に見たがんの罹患

年齢別にみると、65歳以上の割合は男性78.7%、女性65.4%、働き盛りの年齢層である40-64歳の割合は男性で20.0%、女性で31.0%でした。

女性の40-64歳のがんが多いのは、この年齢層に乳がんが多いためです。また、女性の15-39歳のがんが男性よりも多いのは、この年齢層の子宮頸がんと乳がんが多いためです。

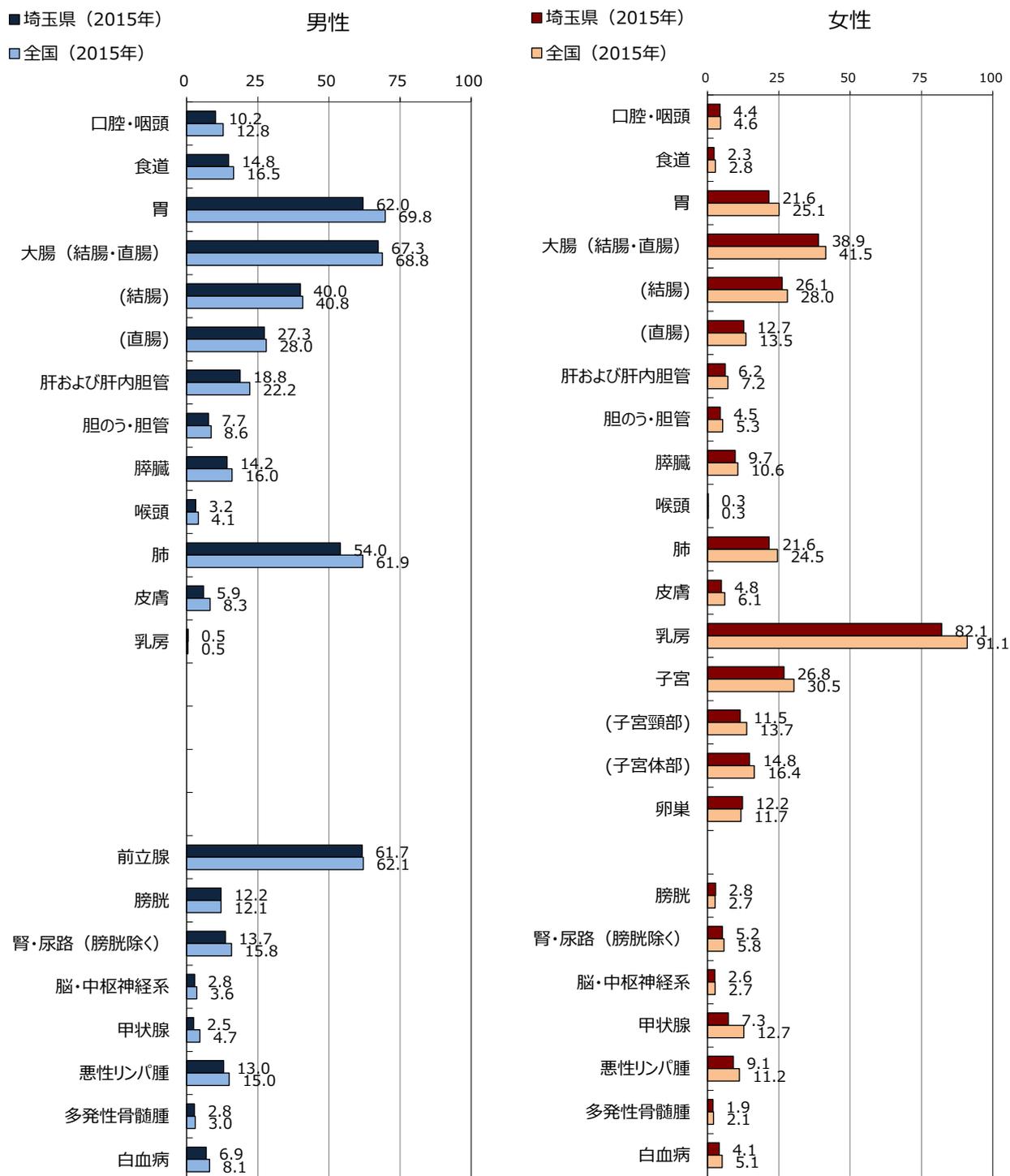
### 年齢別内訳 (%)



## 埼玉県のがんの罹患の特徴

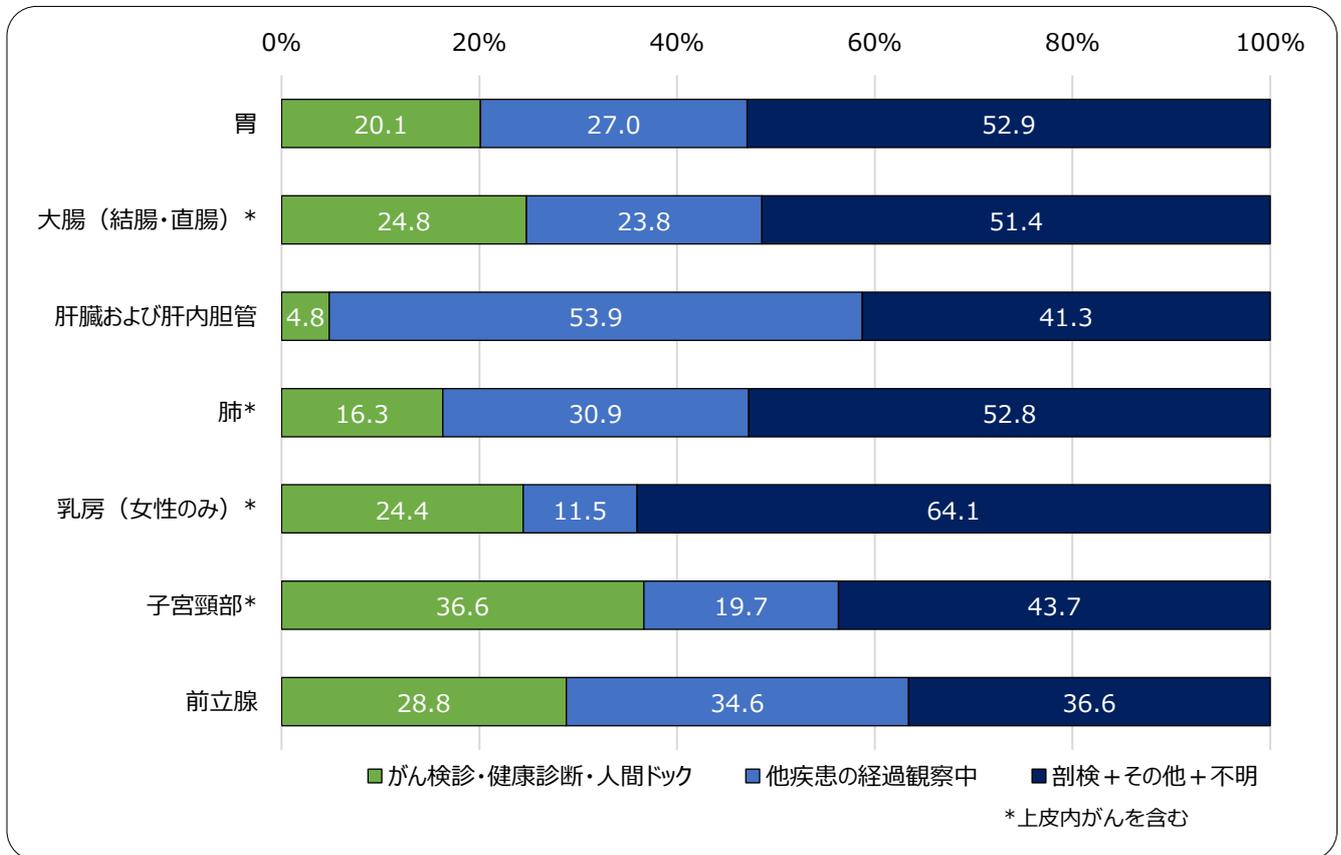
埼玉県の年齢調整罹患率は、ほぼすべての部位で全国の値より低い値を示しています。ただし、これは届け出漏れの影響を考慮する必要があります。（全国値はがん対策情報センター「全国がん罹患モニタリング集計 2015年罹患数・率報告」（MCIJ2015）より引用）

### 部位別がん年齢調整罹患率：人口10万対



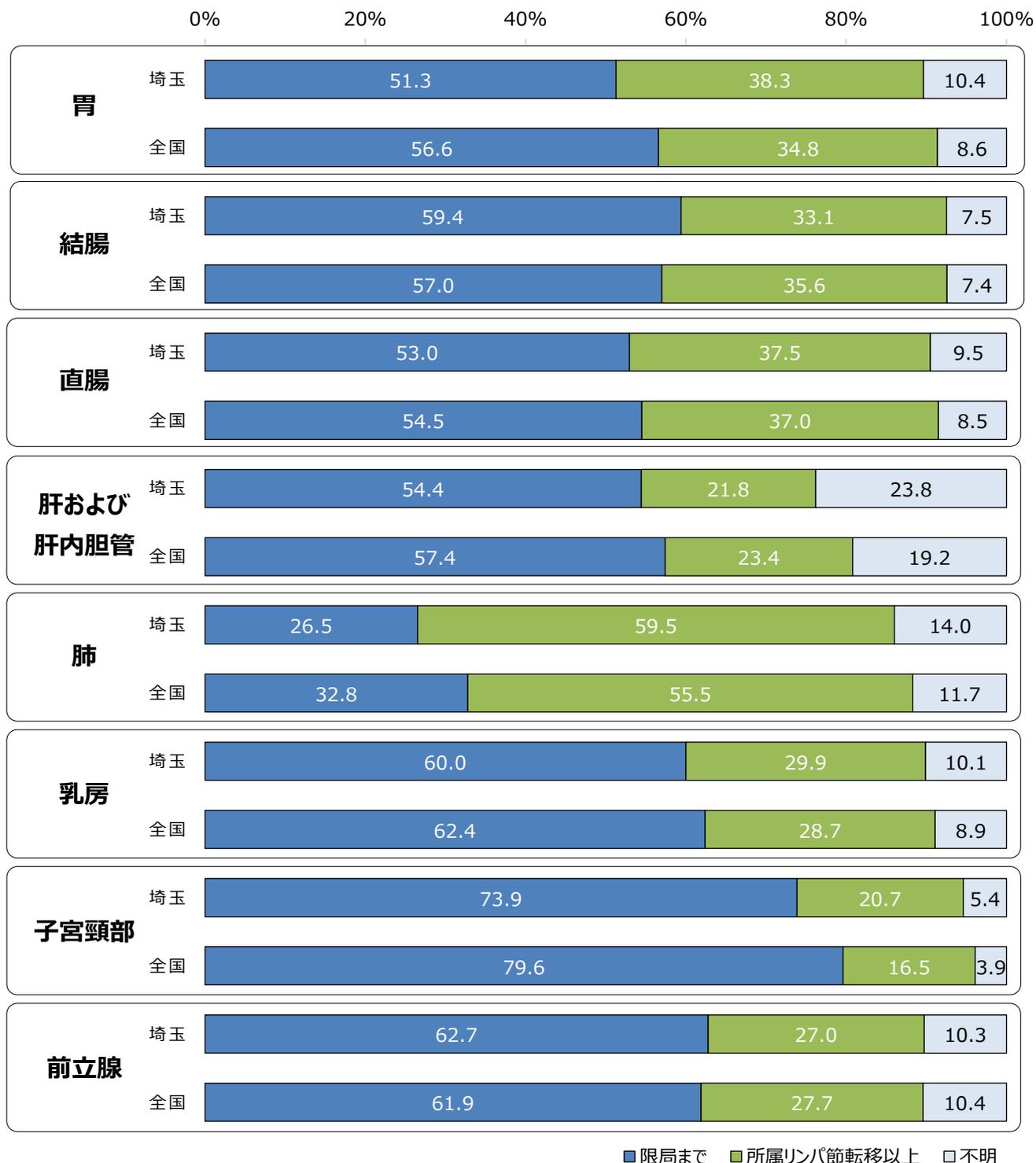
## 発見経緯

「がん検診」及び「健診・人間ドック」が発見の契機となった症例の割合は、多い順に子宮頸部 36.6%、前立腺 28.8%、大腸 24.8%、乳房 24.4%、胃 20.1%、肺 16.3%でした。



## 病期

がんが発見されたときに原発巣からどこまで広がっていたかを「限局まで」（「上皮内」＋「限局」：比較的早期のがん）と「所属リンパ節転移以上」（「所属リンパ節転移」＋「隣接臓器浸潤」＋「遠隔転移」：進行したがん）の二つに分けて示しています。全国と比較すると埼玉県では、胃、肺、子宮頸部において、進行した状態で発見されるがんの割合が高くなっています。一方、結腸において、全国と比べて早期で発見される割合が高くなっています。



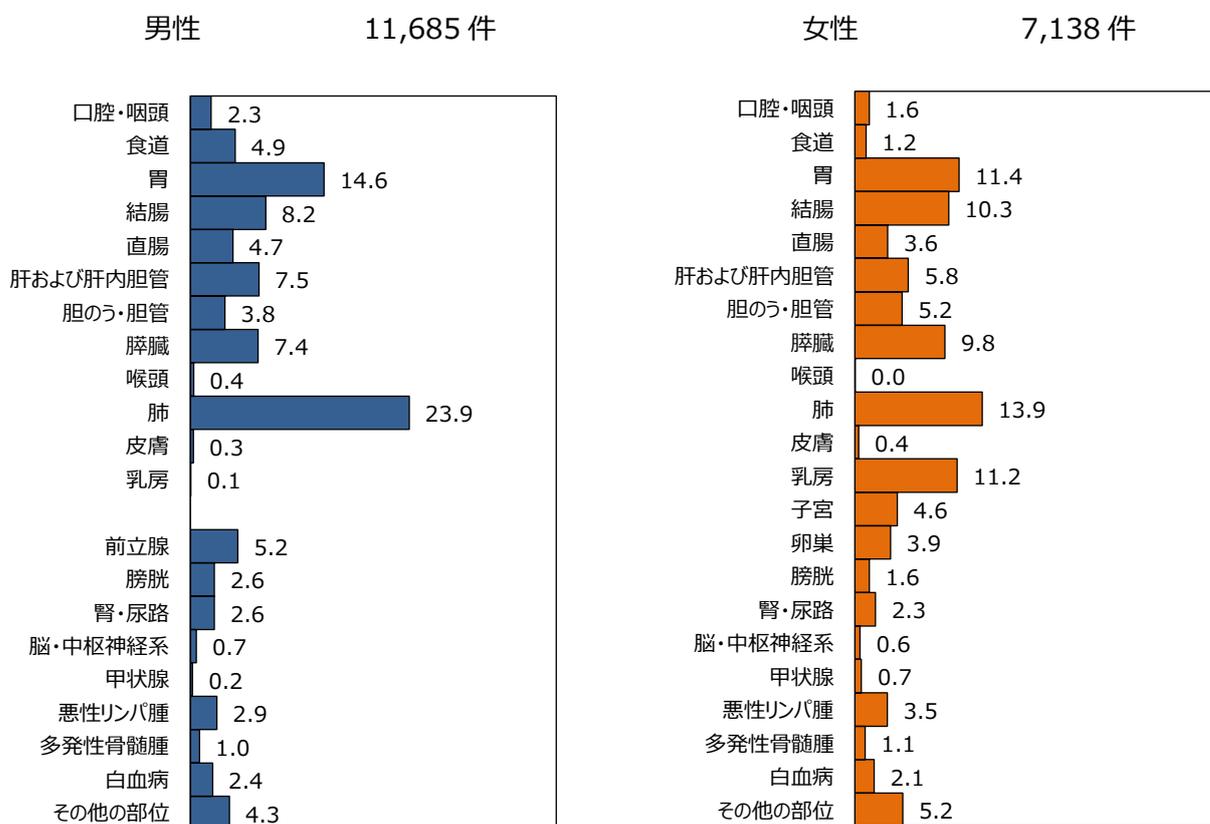
## 死亡の概要

2015年に埼玉県において、男性11,685人、女性7,138人、合計18,823人が、がんを原因として死亡しました。部位別では、多い順に男性では肺、胃、大腸、肝及び肝内胆管、膵臓、女性では肺、大腸、胃、乳房、膵臓となっています。

### 死因となったがんの発生部位

	1	2	3	4	5
<b>男性</b>	肺 2,796件 (23.9%)	胃 1,708件 (14.6%)	大腸(結腸・直腸) 1,506件 (12.9%)	肝および肝内胆管 877件 (7.5%)	膵臓 865件 (7.4%)
<b>女性</b>	肺 992件 (13.9%)	大腸(結腸・直腸) 988件 (13.8%)	胃 812件 (11.4%)	乳房 798件 (11.2%)	膵臓 702件 (9.8%)

### 部位内訳 (%)



## 埼玉県のがんの死亡の特徴

年齢調整がん死亡率は、臓器別に見ると、男性の胃、大腸、女性の乳房などで全国よりも死亡率が高く、男性の肝及び肝内胆管、女性の大腸などで全国より低くなっています。（全国の値は国立がん研究センターがん情報サービスから引用）

### 部位別年齢調整がん死亡率（人口10万対）

